

第23回 やつしろ・まち・ひと・しごと対策推進会議

議事要旨

日 時：令和7年7月24日（木） 14：00～16：00

場 所：八代市役所 301・302会議室

■やつしろ・まち・ひと・しごと対策推進会議 委員（敬称略）

八代市	総務企画部長	田中 孝（会長代理）
八代市市政協力員協議会	会長	福田 民男
八代商工会議所	事務局長	金城 雅明（代理）
八代市商工会	会長	野村 浩一
一般社団法人DMOやつしろ	事務局長	永田 浩基
熊本県県南広域本部	総務部長	宮川 和巳
熊本県立八代高等学校・八代中学校	教頭	井上 朋美
八代市教育委員会	委員	早田 蛍
日本郵便株式会社 坂本郵便局	局長	深田 啓介
連合熊本県南地域協議会	事務局長	花岡 久美子
株式会社 エフエムやつしろ	放送係	山田 由紀子（代理）
八代市保育協会	会員	木浦 由美子
八代港港湾振興協会	理事	吉田 明子
株式会社 きらり. コーポレーション	企画広報部長	川越 真也（代理）

（欠席）

八代地域農業協同組合	代表理事組合長	山住 昭二
八代森林組合	代表理事組合長	黒木 信夫
八代漁業協同組合	代表理事組合長	平田 正一
株式会社 神園交通	代表取締役	神園 久二子
メルシャン株式会社八代工場	工場長	藤田 康範
株式会社肥後銀行 八代市役所支店	支店長	山下 たまき

<配付資料>

会議次第、出席者名簿

資料1 第2期八代市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和6年度効果検証（概要）

資料2 第2期八代市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和6年度進捗状況について

参考資料

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 議事

第2期 八代市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について

- ・資料1、2 説明（事務局）
- ・資料1は、重要目標達成指標及び重要業績評価指標（K P I）の進捗状況を総括したもの。
- ・あわせて、国立社会保障・人口問題研究所と本市人口ビジョンの将来展望人口及び国勢調査における総人口を比較し、本市の人口の推移や令和7年度以降の取組について整理。
- ・資料2は、総合戦略の重要目標達成指標及び重要業績評価指標（K P I）の取組状況や今後の方針を記載したもの。

— 委員からの主な意見 —

・「防災士の資格を持つ人数」が重要業績評価指標（KPI）に設定されているが、防災士の資格を持っているだけでは、地域における即戦力になるわけではないため、今後 KPI を設定する際は、資格を持つ人数ではなく、地域の防災士や市の登録防災士の方などを活用して、避難訓練や物資整備などの地域防災にどのように取り組んだかといった具体的な地域の防災力アップに繋がる指標を設定することで、災害に強く安心して暮らせるまちづくりに直接的に繋がっていただきたい。

・クルーズ船寄港数について、令和7年度目標値100回となっているが、目標値を設定した令和元年度当初から状況が変化しており、現状として100回を受け入れられる体制ではなく、また地元の温度差もあり、クルーズ船寄港による恩恵を感じていない、逆にあまり来てほしくないという意見も一部聞くので、令和8年度以降は実態に即した妥当な目標値の設定が必要。

・小中学生の教科書について、冊数によっては結構な重量になり、持ち帰る際の子どもたちの負担が大きいので、活用されているタブレットで、教科書を見れるようにできないか。

・「育てたいまち」を実現するためには、学校だけでなく、地域や企業、行政が一体となって子どもを共に育てるという視点が不可欠。

・八代には素晴らしい歴史があるので、歴史を学ぶだけではなく、その歴史、特色を生かした体験学習の充実や、地域課題の解決を目指した探究学習の推進により、子どもたちが八代について考え、八代で学び貢献し将来を描くことができる環境づくりを整備していくことが重要。

・不登校児の増加が、教育だけでなく社会全体の課題となっており、学校へ行けない子どもへの多様な学びの提供、居場所づくりの提供のため、教育だけでなく地域と他団体の関わり方についても、仕組みの整備を検討いただきたい。

・共働きが増加する中、働く保護者への配慮と学びの機会として、放課後と長期休業中の学習支援や居場所づくりについて検討いただきたい。

4. 閉会